

# 東海大学理学部

## 数学科同窓会会報

### 第九号

#### 【巻頭言】

横浜市教育委員会人権教育 主任支援員 植田敬久  
芥川龍之介の「河童」という本では、河童は生まれてくることを希望するものだけが生まれてくる事になっています。自らの意思で生まれて来ますから、目的や意義を持って生まれてくることとなります。私たちはある時、ふと気がついてみたら生きています。河童のようにあらかじめ目的や意義を持っていた訳ではありません。私たちは、自らの思索や体験を通して、自らの力で生きることの意義や目的を生み出すしかありません。その方法は、歴史や先人から学ぶことはもちろんですが、人との出会いから学ぶ大切さがあります。

今回の原稿も人との出会いから生まれました。私は、昨年度まで無限の会（東海大学を卒業した教職員の会：現在約 3000 名）の会長をしておりました。教職を目指している学生に何かしらの貢献が出来ないかと、3年前に根本精司名誉教授（学生時代に所属していた数学会の顧問であり、当時私が会長をしていた関係でよく一緒にいました。）から、前田陽一教授を紹介して頂きました。そして、前田教授の協力を得て、教職を目指す学生達へ無限の会の会員と教職セミナーを充足し、年2回理学部数学科の学生に対して支援を行う事ができるようになりました。そして、少しずつですが教員採用試験の合格率が上がって来ています。前田教授からの原稿依頼でありましたので、すぐに快諾しました。

私は、S51 年度基礎数学を卒業し、その年に横浜市の中学校教師として採用されました。その後、県や関東で数学の指導法や研究発表を数多く行いました。当時繰り返し読んだ本は、「いかにして問題を解くか」初版訳は昭和 29 年です。この本は、現代の中学校数学の指導に十分に役立つ本だと確信しています。文中に「授業時間内での決まり切った詰め込みの批判・・・教師が生徒の知識にふさわしい問題を与えて興味をそそり、適当な質問によって問題を解く手助けをしてやるならば、生徒に自分自身でものを考える意欲と方法を与えることができる。」と書かれています。私は先人の数学者達の素晴らしい感性は、今を生きる中学生に新鮮なヒントを与えてくれると思います。私自身、数学科で学んだ先生方一人一人の感性に影響を受け、出会った先生方が今も心の中で生き続けています。

生徒にとっては新しく学ぶ内容はすべて未知であり新鮮です。先人の数学者達が考え苦しみて、論理的な体

系を創り上げて行った事を学ぶ事は、指導法の中で大切な事です。

さて、21 世紀は『知識基盤社会』であると言われています。これは、新しい知識、情報、技術が政治・経済・文化・芸術をはじめとして社会のあらゆる領域において活動の基盤になっているからです。このような社会では、基礎的な知識や技能の習得、また、それらを活用して課題を見出して解決するための思考力、判断力、表現力が必要となってきます。知識は常に進歩し、それには国境が無いためにグローバル化が一層進み、国際競争が加速して来ています。一方で、異なる文化や文明を共存させて国際協力、公共心も必要となってきます。今まで、個人の権利や義務、自由や平等など個人の価値の尊重ばかりが全面に出て、社会での個人のあり方が明確にされずに、自分勝手・自分さえよければの考え方が主流となってきていましたが、21 世紀に生きる私達は、主体的に社会の発展に参加し公共の精神を身に付けていかなければなりません。そこには、確かな学力・豊かな心・健やかな身体を調和した『生きる力』を育てて行くことが大切になってきます。人は年月と周りの状況そして努力によって大きく変わりますが、変わらない気質もあります。東海大学数学科で学び身につけた事、仲間から感じ取った温かい心は気質に影響を与えていると思います。

最後になりますが、私は『人生において今日は一番若い日』と言う言葉が好きです。私は還暦を迎え年齢を重ねております。そういう私も今日と言う日が一番若い日です。明日だと一日、年を取ってしまいます。ですから、私の人生の中で一番若い日、今日という日を大切にしたい。そんなふうに思います。明日から何月から、来年になってからではなく、自分の一番若い日にこそ、何かを始める勇気が欲しい。今日より他にもっと若い日はもう来ないのです。人は突然、年を取るとことは無いのです。突然 50 歳に成ることも、突然 60 歳に成ることもありません。一日一日の積み重ねが 50 歳のいう時の自分を作り、60 歳、70 歳、80 歳というときの自分に繋がります。何かに躓いてやり直しをしなければいけない時にも、『人生において今日は一番若い日』という言葉は、私を勇気づけてくれます。

数学科同窓会一人ひとりの力で、会が益々の発展していく事を祈念しております。

前横浜市中学校校長会港南区理事

前横浜市中学校教育研究会数学科研究会会長

前神奈川県数学教育研究会常任理事

前日本赤十字神奈川県青少年育成協議会副会長

前横浜市港南区学校警察連絡協議会会長

前無限の会会長

【数学科入学から十年を経て】

全国共済水産業協同組合連合会 大野 璃紗(旧姓:村林)

今から十年前に付属高輪台高校を卒業した私は、大学生活に夢と希望と多少の不安を持ちつつも数学科に入学しました。この時、十年後には一児の母になり、同窓会の会報誌に近況報告をするとは想像できなかつたです。私のような若輩者が寄稿するのはおこがましい事だと承知しておりますが、学生時代の指導教官である山本先生からどうしても近況報告を書いて欲しい、と依頼を受け、筆を執る事にしました。

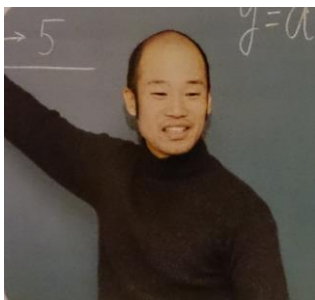
在学中に山本先生から「アクチュアリー」という職業を勧められ、数学科卒業後は現在の職場でアクチュアリー候補生として主計部門に所属し、死差損益の作成・検証等を行っております。仕事柄、他社のアクチュアリーと交流する機会があり、とある会合で現在の主人と出会い、一昨年結婚しました。昨年は第一子を授かり、一年弱の産休・育休を経て今年の四月に職場復帰しました。子供がまだ小さく時短勤務中のため比較的負担が少ない業務を担当していたのですが、諸事情により他部署との兼務を命ぜられ、死差損益だけではなく費差損益の検証も行うことになり、二足の草鞋を履く事になりました。限られた勤務時間の中で二部署の職務をこなす、帰宅後は育児と家事に追われ、一日が終わる頃にはヘトヘトになり、本来ならばアクチュアリーになる為に資格試験の勉強をする筈が子供と添い寝をし、そのまま朝を迎え「遊んでよ～」とばかりに子供に起こされるのが日常茶飯事です。

出産後はまさに子供中心の生活になり、180度世界が変わりました。仕事・育児・家事どれをとっても中途半端であるのは否めませんが、「何をするのが最善か」を意識しながら、仕事も子育ても楽しもうと思います。両親とも数学科出身の家庭に生まれ育った我が子は、両親と同じく数学を専攻する道を歩むのか、それとも反面教師として全く違う道を歩むのか、注視したいと思います。

末筆ながらこのような機会を設けて頂いた山本先生に感謝を申し上げますと共に、拙文にお付き合い頂いた数学科OB・OGの皆様へ感謝申し上げます。

#### 【同窓会報に寄せて】

2004年度 理学部数学科卒業 小笠原 淳  
2004年度卒業の小笠原淳と申します。学生時代は前田



ゼミに所属していました。月日が経つのは早いもので、もう卒業してから10年が経とうとしています。中学校教諭としての生活も、同じく10年目を迎えました。学生時代には緩やかだった時間の流れも、就職とともにめまぐるしいスピードで過ぎ去っていくことを実感しています。

初任の川崎市立高津中学校には7年間勤め、現在は川崎市立宮前平中学校にて勤務しています。担任として今年度、3回目の卒業生を送り出します。部活動はここ7年間、野球部の顧問を務め、土日は練習試合や大会を中心に活動しています。

就職当初は教科指導、学級指導、生徒指導、部活動指導等すべてにおいて、先輩の先生方からの指導助言をいただきながら何とか毎日をやりくりしていく日々でした。順調に仕事を進められるようになったのも、1～3年の担任を一回り経験した4年目が過ぎてからだったように思います。

この10年間で最も印象に残っていることは、私が最初に担任を受け持った生徒が昨年度成人を迎え、同窓会を開いたことです。最初の卒業生ということもあり、過ごしてきた日々を懐かしみ、お酒を酌み交わした時は教員になってよかったと実感した時でもあります。

また、平成23年度に起きた東日本大震災では、復興ボランティアとして陸前高田市と南相馬市を訪問し、けん玉5段の特技を生かして避難所や保育園・小学校で、模範演技や授業等を行いました。被災地の方々の前向きに生きようとする姿に、逆にこちらが元気づけられたような、そんな経験でした。

この10年間で、私自身の生活も大きく変化してきました。家族を持ち、子供も2歳の息子と0歳の娘の2人を養っています。皆様方のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。



#### 【同窓会の活動状況】

今年度は3月25日の学位授与式で同窓会賞を2013年度：中島叶恵さん、池田美香子さんの2名に授与しました。当日は卒業パーティが厚木の「フォーラム246」で開催され、山田同窓会長も出席し懇親を深めました。

例年、11月3日の大学の同窓会ホームカミングデーに合わせて数学科同窓会も総会を開催しています。先輩、後輩が集い、話に花を咲かせています。家族ずれでの参加もありで楽しく過ごしています。お気軽に参加してください。お待ちしております。会報の送付を行っていますが、周りで届いていない人がいましたら事務局までご連絡ください。

OB,OGとして学生支援に役立てるよう協力して行こうではありませんか。

同窓会として協力できることは実施していきたいと思っておりますので、お力添えのほどよろしくお願いたします。

さて、数学科同窓会設立25周年記念のイベントを開催したいと考えています。日程、内容について検討をしたいと思いますので、アイデアをお持ちの方は事務局ま

でお申し出ください。開催にあたりましては多くの卒業生に声を掛けさせていただきます。

数学科同窓会の会員数は

2014年4月現在：4127名です。

【事務局便り】

数学科同窓会の会報は卒業生や先生方からのメッセージや大学の現況、さらに懐かしい先生からの思い出など、同窓生にとって有意義な情報発信ができればと思っています。800文字＋写真など原稿をお届けください。次号に掲載させていただきます。また、興味のある企画などありましたら積極的にお寄せください。

卒業生の寄稿も歓迎です。また、一言メッセージを随時募集しています。また広告の掲載も募集しています。掲載を希望される人は下の連絡先にお問い合わせください。数学科同窓会に関するお問い合わせも、下の連絡先までお寄せください。E-mail でお待ちしております。

連絡先

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1  
東海大学理学部数学科同窓会事務局  
事務局長：原田 三行 (70年度卒)  
e-mail : zharada@star.tokai-u.jp

同窓会の運営経費は会員皆様の会費によって維持されております。一口2000円(何口でも可)を次の郵便口座まで振り込んでいただきますよう皆様のご協力をお願いいたします。なお、納入者については会報に掲載しご報告とさせていただきます。

口座番号：10200-25747091  
口座名：東海大学数学科同窓会

【同窓会費納入者名簿】敬称略

【2013年度】

村中 仁、杉山 純、鳥海貴大、皆川 憲一

【2014年度】

菅原 敏彦、山崎 則夫

ありがとうございました。

【2014年度理学部数学科教員名簿】

湘南校舎	主任 教授	マダ ヨウイチ	前田 陽一
湘南校舎	教授	トウ タツオ	伊藤 達夫
熊本校舎	教授	イダ ツネシ	今田 恒久
清水校舎	教授	ウラ マサツク	占部 正承
湘南校舎	教授	キキ シ	桐木 紳

高輪校舎	教授	カイ トシリ	酒井 利訓
札幌校舎	教授	サバウ バシレ ソリン	サバウ バシレ ソリン
湘南校舎	准教授	シマ アキコ	志摩 亜希子
札幌校舎	教授	チン ウンゴウ	陳 蘊剛
高輪校舎	教授	ナカハ ノボル	中畑 登
清水校舎	教授	ナカム アキヒロ	中村 昭宏
湘南校舎	教授	フルキ ヤスオ	古谷 康雄
清水校舎	教授	ホリ キョウシ	細野 潔
湘南校舎	教授	ヤマモト ヨシロウ	山本 義郎
湘南校舎	教授	アカマツ トヨヒロ	赤松 豊博
湘南校舎	教授	トイ マコト	土井 誠
湘南校舎	教授	ワタハ ジュンゾウ	渡邊 純三
清水校舎	准教授	マツダ カツミ	松田 克己
高輪校舎	講師	キダ ケンシ	貴田 研司
湘南校舎	講師	ササキ アツム	笹木 集夢
湘南校舎	講師	ツキオカ トオル	月岡 透
湘南校舎	講師	ツジ タカエ	都地 崇恵
湘南校舎	講師	ナガイ ヒデトモ	長井 秀友
湘南校舎	講師	ナカヤマ ヒロマサ	中山 洋将

以上



12号館から大山方面の眺望

【お知らせ】

！！ 東海大学ネットに参加しませんか ！！  
東海大学同窓会のホームページ

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/index.html>  
→「同窓生へのサービス」→「東海大学ネット」で内容を確認することができます。

東海大学同窓会が発行する生涯メールアドレス(メール転送機能)を手に入れ、有効活用いたしましょう。

数学科同窓会のお知らせ、連絡等にメールを利用していきたいと思っておりますので、多くの方々に登録をお願いいたします。

「卒業後、1年以上経過した同窓会員の皆様へ」\*注1

ご利用にはログイン名(あなたの ID)およびパスワードが必要です。入手していないか、不明な場合は、東海大学ネット問合せ先まで連絡をお願いいたします。その際には卒年、学部、学科、専攻、課程、氏名、現住所、学生番号(省略可)をお知らせください。

E-Mail : [tokai-net@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:tokai-net@tsc.u-tokai.ac.jp)

ログイン名・パスワードを発行し、ご自宅宛に郵送する手配をいたします。

数学科同窓会の Web サイトは下のアドレスです。ご利用ください。お知らせや会報のバックナンバーについても順次掲載する予定です。

<http://www.sm.u-tokai.ac.jp/>

\*注1：東海大学ネットHPより引用しました。

#### 【数学科同窓会役員】

会長	山田 正和	(69 年度卒)
副会長	松尾 久美子	(70 年度卒)
〃	中村 昭宏	(76 年度卒)
事務局長	原田 三行	(70 年度卒)
幹事	千葉 彰悟	(69 年度卒)
〃	沢野 重春	(70 年度卒)
〃	坂井 和也	(80 年度卒)
〃	岡安 英文	(80 年度卒)
〃	山本 義郎	(91 年度卒)
代議員	各年代 2 名	
会計	泉水 博	(00 年度卒)
監査	手塚 政夫	(70 年度卒)

#### 【編集後記】

この4月に43年間勤めた仕事を無事に定年退職し毎日サンデーの状態となりました。9時、5時の生活をしてきた仕事人間が、それらの拘束から解放され自由人となりました。趣味を広げ、自然にも触れ、旅行にもと云った、今まで我慢をしていた夢のような世界が口を開けて待っています。ゆっくり一年一年を計画的に進められるようにして行きたいと思います。

2014年度は理学部設立50周年の記念の年で、数学科同窓会設立25周年の年でもあります。同窓会設立当初から携わってきたものとして考え深いものがあります。まさに「継続は力なり」です。

この会報も9号目となり次号からは新たな気持ちで編集に取り掛かれれば良いと考えます。今まで多くの方々に原稿をお寄せいただき感謝に堪えません。今後とも皆さんの協力をいただきますようお願いいたします。

(み)



噴水から五号館前ロータリー方向のケヤキ並木



2013年11月3日の同窓会にて



#### 【発行】

発行日 2014年11月3日

編集 東海大学理学部数学科同窓会会報編集委員会

発行人 山田 正和

発行所 東海大学理学部数学科同窓会

〒259-1292

神奈川県平塚市北金目4-1-1